

子どもの成長を見る会

別海町立中西別中学校

(1年生男子4名・女子3名、2年生男子3名・女子1名、3年生男子4名・女子6名、教職員15名)



「子どもの成長を見る会」で例年行われております、別海町少年弁論大会で発表した生徒の作品を紹介します。

祖父からもらった夢 (優秀賞)

中西別中学校 三年 松原 春来

八十数年ぶりの男の子の誕生。それが僕です。久しぶりの男の子です、家族総出で喜んでくれました。僕の家は先祖代々続く酪農家です。岐阜県から移住し、何も無い土地から馬で畑を耕し、知り合いから牛をもらい、少しずつ牛を増やしていったそうです。自分たちの手で作り上げた農場です。

この地に三代目として継いだのは、僕の祖父です。大黒柱として支えてくれ、それまでに沢山の苦労があったと思います。女系家族の中、唯一、男同士の話ができるのが祖父で、どんな事でも「頑張れ。」と背中をおしてくれました。

「はるの顔を見に来たぞ。」と毎日僕の家に来てくれた祖父。いつも仕事熱心で小さい頃よくトラクターに乗せてもらったのが思い出に残っています。そんな祖父が大好きでした。

ある日、外で大きな鈍い音がして、祖母が慌てた様子で僕の家へ駆け込んできました。祖父がトラクターに乗ったまま倒れていたのです。心臓発作でした。そしてそのまま帰らぬ人となってしまったのです。体調を崩していたのにもかかわらず、病院嫌いで限界まで働いていたことを思うと僕は胸が張り裂けそうでした。

「病院にもっと早く連れて行ってあげれば。」「もっと早く気付いてあげる事が出来れば。」「沢山話したい事もあったのに。沢山教えてほしいこともあったのに。」後悔ばかりが頭の中をぐるぐると回って離れません。悲しみの中、家族会議が開かれました。母から、「これからどうしたらいいと思う?」と聞かれ、僕は、「家を継ぎたい。」と、とっさに答えました。そして母は、「家を継ぐにしても継がないにしても高校を卒業するまで牛舎は残しておいてあげるから。」と言ってくれたのです。

女手一つでここまで育ててくれた母。その姿を見て、酪農という仕事は、並大抵な気持ちではできないという事をよく知っています。この時、酪農の経営を全部一気に引き受けた母は、とても強い人だと思います。母は悪戦苦闘しながらも必死に頑張っているところです。そして僕も「牛の分娩」や「放牧の準備」など、力仕事がある時にはいつも手伝いに行っています。「男は、あなたしかいないんだから、頼りにしてるからね。」そう言われると嬉しい気持ちと共に、

「僕がやらなければ」という責任感でいっぱいになります。

牛を飼う為には、「牛の生体系に関する知識」「牛を見る観察力」「バランスの良い収支」この三つのことが大切なのだ、昔、祖父が教えてくれました。今はまだ僕にできることは限られています。しかし牛が牛らしく過ごせる環境を整えてあげて、たくさんの牛に触れて、酪農に関する色々な知識を養ってきたいです。酪農は、知れば知るほど奥深く難しい仕事です。

幼いころ遊び場だった牛舎を挑戦の場に。

酪農にかける思いは、家族への思いです。父親代わりだった祖父、僕を育ててくれた祖母や母に恩返しをすること。それが僕の夢です。

「はるの顔を見に来たぞ。」今でもニコニコと、僕の家に来てくれるような気がしてなりません。成長する僕を空から見守ってほしいです。



SNSのあり方とは (佳良賞)

中西別中学校 二年 坂野下 瑛太

二十二年五月、その出来事は突然起こりました。皆さんも一度はこのニュースを見たことがあると思います。女子プロレスラーの木村花さんが自殺した事件です。木村さんは当時あるテレビ番組にレギュラー出演していました。しかし、突如二十二歳という若さで亡くなってしまいました。

この事件の発端となったのはSNSでした。亡くなる二か月前から木村さんに対しての誹謗中傷が相次ぎ、多い時では一日百件以上の中傷の書き込みがあったそうです。

SNSでは他にも誹謗中傷の事例がありました。

一つ目は、新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷です。昨年、新型コロナウイルスが日本で広まってから、新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷が殺到。実際に感染者の職場や個人情報特定し、事実ではない情報を拡散するなどの事例もあったそうです。

二つ目はアスリートへの誹謗中傷です。今年、東京オリンピックが開催され、日本のアスリートが活躍しました。しかしその裏で、アスリートへの誹謗中傷が相次ぎました。東京オリンピックの大会中には、卓球で金メダルを獲得した水谷隼選手と同じく金メダルを獲得した体操の橋本大輝選手などが、誹謗中傷について発言しました。

なぜこのような事態が起きてしまったのでしょうか。そしてもし自分が誹謗中傷を受けてしまったらどうすればよいのでしょうか。

誹謗中傷の対策には様々な物があります。

一つ目は、誹謗中傷を無視することです。誹謗中傷の中には事実ではない情報も含まれている可能性があるため、反応せず無視することも大切です。

二つ目は、サイトやSNSの管理者に削除依頼をすることです。ほとんどの管理会社では規約やガイドラインで削除対象になる投稿内容について定めています。規約に違反する投稿であれば削除してもらえる可能性は高くなります。さらに内容が脅迫のような危険である場合は、警察に相談するのも重要です。今回紹介した誹謗中傷の事例の主なる原因はSNSでした。では本来のSNSのあり方とは何でしょうか。

SNSとは世界中の人々がつながるコミュニケーションツールです。それを利用して、様々な国や地域の文化などを伝えていくことが「SNSの本来の使い方ではないかな。」と僕は考えます。様々な良い点がありますが、SNSにはデメリットもあります。SNSは世界中の人々が共有しているため、名前や住所などを簡単に投稿してしまうと犯罪につながる可能性があります。さらにSNSは短い言葉や写真などで投稿する機会が多く、決してそう思っていない

くても、トラブルになってしまう可能性があります。

今現在僕はSNSを使っていません。しかし今回、誹謗中傷の記事などから興味を持ち調べてみました。するとSNSには様々なメリットとデメリットがあり、それを理解した上で本来のSNSの使い方を守って使用することがトラブルを防ぐためには大切だということがわかりました。

自分達には関係ないと思っても、いつトラブルが起こるかはわからないので、自分達が使い方をしっかり守って「世界中の人々が安心してSNSを利用できる社会になればいいな。」と思います。

皆さんも安全にSNSを利用できるように、使い方を守って利用するようにしていきましょう。

